

グレープ製品パッケージに適したカラーパレットの提案

160441050 木原 涼
川澄研究室

1. はじめに

パッケージデザインが視覚的に与えるインパクトは製品の売り上げに大きな影響を及ぼす。また、パッケージの色彩は、製品コンセプトに合わせて設計されることが求められる[1]。一方、近年、タイではグレープの栽培地域や輸出入の増加により市場が拡大し、製品パッケージ・ウェブサイト・広告などのカラー戦略に対する需要が高まっている。

本研究ではグリーン・レッド・ブラックの3種類の色グループをもつグレープに着目し、グレープの色グループ別の印象色を調査した結果から、製品パッケージに適したカラーパレットを作成する。最終的には、タイと日本でカラー戦略の差異を比較するのが目標である。

2. 実験方法

グレープの写真画像を27枚(9枚×3色グループ)用意し、実験1では、グレープの色グループ別にあてはまる印象色を40のマンセル色相[2]から1つ以上選択してもらい、その得票率によって色相を絞り込む。実験2では、実験1で絞った色相を対象に、パッケージ色として適切だと感じる色を、マンセル色票(明度と彩度の組合せ)の中から1つ以上選択してもらった。実験環境を図1に示す。実験1の被験者は30名(男女各15名)で、所要時間は5-15分程度であった。実験2の被験者は40名(男女各20名)で、所要時間10-30分程度であった。

3. 実験結果

実験2で得られたパッケージ色の選択結果を図2に示す。この3次元グラフは、横軸が色相、縦軸が明度、奥行きが彩度、バブルの大きさが得票数を示している。色をつけ

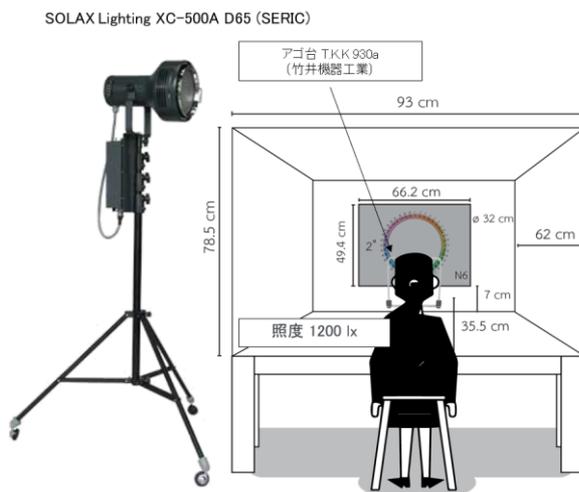


図1 実験環境

た円は得票数が上位5位以内の色である。a)に示す上位の色は、距離が近いところに集まっており、色差が小さいため、パッケージ色のためのカラーパレットには適さない。そこで、a)のデータをクラスタ分析したところ、上位5色はb)のように分散した。これをパッケージ用のカラーパレットとして提案することにした。

4. まとめ

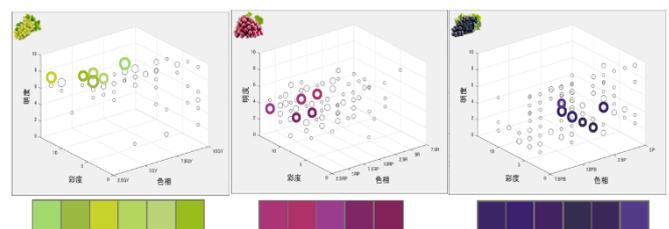
グレープ製品パッケージに適したカラーパレットを提案するために、色グループ別に印象色を調べ、クラスタ分析を用いて代表色を求めた。今後は、パッケージにふさわしい色彩を日本人とタイ人とで比較する予定である。

謝辞

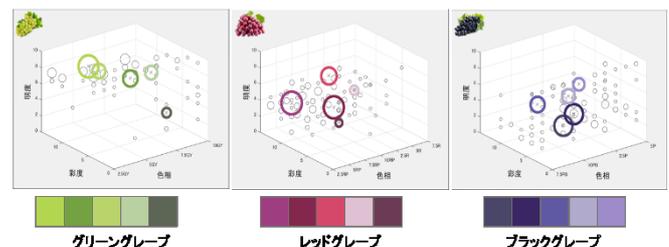
課題提起、研究討議、実験を共に協力して行なった Rajamangala University of Technology Thanyaburi(タイ)の大学4年生 Kanchaporn Jankeaw 様に感謝いたします。

参考文献

- [1] 斎藤牧子, 潮田浩, 和田裕一: ペットボトル緑茶飲料の外観から感じる味の印象に及ぼすパッケージカラーの効果, 日本感性工学会論文誌, Vol. 8, No. 2, pp. 361-368 (2009).
- [2] X-rite: Munsell Book of Color, Glossy Edition, <https://www.pantone.com/products/munsell/munsell-book-of-color-glossy-edition> (最終閲覧日: 2020年1月14日).



a) 適切なパッケージ色の選択結果



b) a)のデータをクラスタ分析した結果
図2 被験者の選択結果とクラスタ分析の結果